

目標達成計画

作成日: 令和 6年 4月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 (6)	家族は協力的で具体的な要望も出されており、日頃の生活状況を個別に知らせ、活発にやり取りができるよう情報提供の方法を工夫してはどうか。	定期的に施設の新聞を発行し、ご家族に連絡をして日常の様子を知らせる。	施設の新聞を3か月ごとに発行。写真を多く取り入れ日常を知っていただく。ご家族へ定期的に連絡をし日頃の様子や今の状態を知らせる。面会や外出の機会を設ける。	6ヶ月
2	35 (13)	自主訓練について、毎回記録に残し、訓練の振り返りや課題を検討してはどうか。	自主避難訓練は火災、水害、地震、日中、夜間など想定し毎月計画をたて実行する。	避難訓練の担当を決め、担当者が毎月計画書を作成し実行する。訓練終了後は参加者で振り返り、見直しを徹底する。	3ヶ月
3	45 (17)	入浴も利用者の選択ができる場面であり、入浴日に拘らず、入浴できる声掛けをしてはどうか。	いつでも入浴ができることをご利用者様に知っていただき、入浴の希望を伝えていただける環境を作る。	入浴予定以外の方にも声掛けを行い入浴の意志を尋ねる。いつでも入浴ができることを知っていただく。	6ヶ月
4	49 (18)	外出や外気に触れることで新鮮な気持ちや刺激につながるため、個別の外出支援やベランダを利用した活動も検討してはどうか。	ベランダを活用した行事を増やすように工夫する。	車椅子をご利用されている方が多く外出行事があまり行えないため、デッキを利用してご利用者様に楽しんでいただけるプランを職員会議などで意見を出し合い定期的に行う。	3ヶ月
	52 (19)	利用者が掲示されたものを見やすいよう、利用者の目線を考慮した掲示の仕方を取り入れてはどうか。	展示物を貼る位置はご利用者様の目線に配慮する。	季節の装飾やご利用者様の作品などをご利用者様がよく目にしていだける位置を考慮して展示する。	3ヶ月
	54 (20)	家族の面会も今後は増えることが予測でき、利用者が安心して過ごせる個性のある居室づくりを家族と取り組んでどうか。	施設の居室が、ご自分の部屋であることを認識していただける様に工夫する。	ご自宅で使用され慣れ親しんだ品物をご家族に持参していただく。持参していただいた品物を職員と一緒に飾り付けを行う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。